

令和4年度 部局経営方針

部局名	総務部	部局長名	日高 章司		
部局の経営資源	職員数	(人)	当初予算額	(千円)	令和4年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正職員	43	一般会計	578,973	
			(人件費・公債費・予備費を除く)		
	再任用職員	3	特別会計	0	
			前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	4	一般会計	7,900	
任期付職員	0	特別会計			
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【基本姿勢】</p> <p>1 人口減少やコロナ禍の影響により市税の減収が見込まれるなど、財政状況が更に厳しくなることが予想される中、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」や「第2次日向市行財政改革大綱」に基づき、行政サービスの向上や行政経営の効率化を図るとともに、健全な行財政運営に取り組みます。 また、事務の適正な執行を確保するため内部統制制度の構築に取り組むとともに、将来にわたって質の高い行政サービスを維持するため、「日向市人財育成基本方針」に基づき、職員の人材育成を推進します。</p> <p>2 自然災害から市民の生命と財産を守るために、自助・共助・公助による災害対応力の強化に取り組みます。</p> <p>3 市民の健康増進やスポーツ活動の拠点及び災害時の拠点施設となる総合体育館の整備を推進します。</p> <p>【総合計画・基本理念】</p> <p>○人口減少や社会保障関係経費の増に加え、長期化するコロナ禍により、今後更に厳しい財政運営が見込まれる中、限られた経営資源を有効に活用しながら、将来世代に負担の少ない健全で持続可能な財政基盤づくりを目指します。</p> <p>○市民の防災意識が高まり、持続可能で強靱な国土と質の高いインフラによる安全で安心な環境づくりを目指します。</p> <p>【総合計画・基本目標に向けた取り組み】</p> <p>1-7 スポーツ活動の推進と環境づくり</p> <p>③ スポーツ施設の整備と活用</p> <p>○ 総合体育館の整備に向け、「日向市総合体育館整備基本計画」を策定し、設計・施工一括発注へ向けた事業者選定業務に取り組みます。</p> <p>1-8 人権・平和の尊重</p> <p>③ 平和教育の推進と啓発活動</p> <p>○ 戦争体験者の高齢化が進み、戦争の記憶が薄れる中、「原爆写真パネル展」や「被爆体験講話」の開催、長崎市で行われる「青少年ピースフォーラム」への中学生派遣などに取り組むことで、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える機会を確保します。</p> <p>4-2 防災体制の充実</p> <p>① 災害予防対策の推進</p> <p>○ 市民の防災意識の向上を図るため、防災訓練や防災講座などの啓発活動を推進します。</p> <p>○ 自主防災会等の地域で活躍する防災士の養成に努めるとともに、地区防災計画策定の取組を支援します。</p> <p>○ 災害時の情報発信の多重化に向けて、「防災情報配信サービス」の登録者増を図ります。</p> <p>② 災害に強いまちづくり</p> <p>○ 計画的な備蓄品の整備と分散備蓄体制を推進します。</p>				

5-6 情報通信基盤の整備と情報化の推進

② 情報通信技術(ICT)利活用の推進

- 電子入札システムによる入札を拡充し、入札参加者の利便性の向上及び行政のデジタル化による業務の効率化を図ります。

6-3 市民に信頼される行政サービスの提供

② 職員の育成

- 「日向市人財育成基本方針」に基づき、コンプライアンス研修や接遇研修、専門研修等を通して、市民に信頼される職員の育成や資質の向上に努めます。

- 人事評価制度を人材育成や人事管理の基礎として適切に活用します。

- 職員の健康管理やワークライフバランスの推進など、風通しが良く、働きやすい職場環境づくりに努めます。

- 本市の実態に即した内部統制の取組を推進することで、職員の倫理の保持及び不適切な事務処理事案の発生防止に努め、市民に信頼される行政サービスを提供します。

- 市の行政処分に関する個票(マニュアル)を整備することで法令の遵守を図るとともに、適正な事務執行を確保します。

④ 情報公開と個人情報の保護

- 職員研修等を実施し、情報公開制度や個人情報保護制度の適切な運用を図ります。

- 市民の権利・利益の保護を図り、公正で信頼される市政の推進に努めます。

6-4 効果的・効率的な行政経営の推進

① 計画的な行政経営の推進

- 部局経営方針の進捗管理や施策等の評価の結果を活用しながら、PDCAサイクルに基づく「選択と集中」による施策の推進に取り組みます。

② 行政運営の効率化の推進

- 給与制度等の課題を把握し、適正化に努めます。

③ 公共施設の最適化と適切な管理

- 「日向市公共施設等総合管理計画」に基づき、安全・安心の確保、総量の最適化、ライフサイクルコストの縮減を実現するため、公共施設マネジメントを推進します。

- 建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行います。

- 市有財産の売却・貸付等により、自主財源の確保に努めます。

- 庁舎の適切な維持管理を行うとともに、市民に開かれた庁舎として、情報発信や利活用の促進を図ります。

6-5 未来につなげる財政運営

① 適正な財政運営

- 経済の状況や国県の動向の把握に努めるとともに、決算状況等の分析を行いながら、市債の計画的な発行や基金の適正な運用による財政運営を目指します。

② 自主財源の確保

- 使用料・手数料の適正化や新たな広告媒体の掘り起こし等により、自主財源の確保に努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
1	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	9 新たな交流拠点整備研究	-	1 新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	資産経営課	施設の老朽化や蔵書スペース・閲覧スペースが不足していることから、市民が利用しやすい図書館のあり方等について検討する必要があります。	政策調査費	関係課協議を行うとともに、先進事例に関する情報収集や建設手法等に関する調査研究を行い、今後の方向性を検討します。	・他自治体の先進事例について調査研究を行います。 ・関係課による協議を行い今後の方向性を検討します。	・先進事例に関する情報収集と次年度以降のスケジュールについて検討します。	先進事例として調査研究を行った自治体の数	2	団体
2	3 笑顔で暮らせる地域共生社会づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	4 スポーツを生活に生かす生きがいづくりや健康づくりの推進	-	6 市民の健康づくり、スポーツ、災害時の拠点施設となる総合体育館の整備に取り組みます。	資産経営課	市民への丁寧な説明に努めるとともに、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、コスト削減策や事業手法等について慎重に検討する必要があります。	日向市総合体育館整備事業	市民への丁寧な説明や事業進捗における情報発信を行うとともに、基本計画に基づき、設計・施工一括発注へ向けた事業者選定業務を行います。	延期になっていた市民説明会を実施し、市民のご意見をお聞きしたうえで、基本計画の策定及び事業者選定支援業務の発注を行います。	外部有識者等による事業者選定委員会及び市民検討委員会を開催します。	日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催回数	2	回
3	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	1 自主防力の向上	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】5地区 ↓ 【R6】10地区	1 「避難所運営マニュアル」を基に、自主防災会と地域の防災士が一体となった避難所運営を推進します。	防災推進課	大規模災害に備え、市職員のみでは避難所運営に支障をきたすことが考えられるため、自主防災組織や施設管理者等の協力を得て避難所を運営することが必要となります。	-	自主防災組織や施設管理者などと避難所運営訓練を通し、避難所担当職員と連携した避難所運営に取り組めます。	避難所担当職員説明会の開催及び避難所運営マニュアル等に基づいた避難所運営訓練を実施します。	防災訓練等に合わせ、多様な主体が参加する避難所運営訓練を実施します。	1地区/年	8	地区

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【総務部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
4	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	1 自防力の向上	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】5地区 ↓ 【R6】10地区	2 自主防災会が主催する避難訓練や防災講座を支援するとともに、地区防災計画策定の取組を推進します。	防災推進課	コロナ禍の影響もあり、防災講座等の開催が減少しています。地区防災計画については、なかなか進んでいない状況です。	地域防災力向上支援事業	あらゆる機会を捉え、「自助」「共助」による地域防災力向上の支援に取り組みます。	地区防災計画策定について地区へ働きかけを行うとともに、福祉部局とも連携した計画策定に向けた支援等に取り組みます。	地区防災計画策定について地区へ働きかけを行うとともに、福祉部局とも連携した計画策定に向けた支援等に取り組みます。	1地区/年	8	地区
5				地域防災訓練などへの参加者数(年間) 【R1】19,780人 ↓ 【R6】25,000人	3 地域の実情に応じた防災訓練の支援や参加しやすい環境づくりに取り組みます。	防災推進課	市民の防災意識の向上を図るためにも、防災訓練等への参加が重要です。	地域防災力向上支援事業	あらゆる機会を捉え、「自助」「共助」による地域防災力向上の支援に取り組みます。	あらゆる世代が参加しやすい訓練等の実施を支援します。	あらゆる世代が参加しやすい訓練等の実施を支援します。	1,000人/年の増	23,000	人
6				市防災情報配信サービス登録者(年度末時点) 【R1】1,700人 ↓ 【R6】2,200人	4 防災情報伝達の多重化のため、防災訓練や防災講座を通じて防災情報配信サービスへの登録を推進します。	防災推進課	あらゆる災害の発生に備え、音声情報では聞き取れなかった避難情報等を文字情報として発信するなど、情報伝達方法の多重化が求められています。	防災情報収集・伝達事業	防災訓練や防災講話に加え、防災イベント等に合わせ積極的に登録を促すとともに、平時からシステムの運用訓練を行い、確実な情報発信に努めます。	土砂災害防止月間等を活用し、登録者増を図るとともに、平時によるシステムの運用訓練を行いながら災害時には、迅速な情報発信により、早めの避難を促します。	総合防災訓練等の機会を活用し、登録者増を図るとともに、平時によるシステムの運用訓練を行いながら災害時には、迅速な情報発信により、早めの避難を促します。	100人/年増	2000	人
7					5 避難所内での感染症拡大防止のため、分散避難などの周知に取り組みます。	防災推進課	災害の規模が大きくなるにつれ、避難者が増加することが考えられるため、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について周知を図る必要があります。	—	避難所運営マニュアルに基づき、災害時における感染症対策に努め、分散避難についての意識啓発に努めます。	避難所運営訓練に合わせた感染症防止対策の実践訓練、市広報紙等を活用した分散避難の周知を図ります。	避難所運営訓練に合わせた感染症防止対策の実践訓練、分散避難等避難のあり方について周知を図ります。			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【総務部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標(KPI)	施策の内容	所管課	現状と課題	R4予算事業名	R4取組内容	R4上半期	R4下半期	令和4年度 成果指標		
												指標の説明	目標値	単位
8	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	3 国土強化の推進	-	1 防災関連施設の充実に取り組みます。	防災推進課	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、分散備蓄を図る必要があり、拠点となる備蓄倉庫の整備を進めています。	地震・津波防災施設整備事業	富高地区の備蓄倉庫建設のための設計業務委託を実施します。	備蓄倉庫(富高地区)の設計業務委託に着手します。	備蓄倉庫(富高地区)の設計業務委託の完了を目指します。			
9				-	8 公共建築物の耐震化や老朽化した施設の改修・更新に取り組みます。	資産経営課	市の公共施設の多くは老朽化が進行しているため、計画的な改修・更新が必要です。	公共施設老朽化対策事業	建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行うとともに、耐震性に課題のある建物について対応を進めます。	総括的な修繕・維持補修工事の対象となる建物の優先順位検討	東郷体育館の耐震補強設計及び美々津支所・公民館の耐震診断を実施	修繕・維持補修工事等の老朽化対策に取り組んだ公共施設数	10	施設

様式1-3 その他に取組む重点事業

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	現状と課題	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
1	6 地域経営	3 市民に信頼される行政サービスの提供	② 職員の育成	職員課	人事評価制度推進事業	公平公正で納得度の高い制度構築のため、今後も改善を図り、評価結果の処遇への反映を図っていく必要があります。	<p>公平公正な評価制度の実現を目指し、評価制度の課題の解消を図るため見直しを行います。また、評価結果を管理職の処遇に反映するとともに、その結果を検証します。</p> <p>効率的な運用、見える化を図るため、人事評価システムを導入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価制度の課題整理と運用の見直し ・管理職勤勉手当への反映 ・評価者・被評価者研修の実施 ・庁内検討委員会の実施 ・人事評価システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職勤勉手当への反映 ・評価者研修の実施 ・調整会議の実施 ・人事評価システム研修会及び試験運用開始

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	総務部	全課	【市ホームページでの公表】 ・個人情報保護制度の運用状況 ・情報公開制度の運用状況 ・財政事情、予算の概要 ・特定事業主行動計画取り組み状況 ・防災情報 ・その他各種計画等	【市ホームページでの公表】 ・財政事情、予算の概要 ・人事行政の運営等の状況 ・人事・給与・福利厚生等の状況等 ・次年度公共工事発注見通し ・防災情報 ・その他各種計画等	財政事情の公表
2			市民ニーズの的確な把握	総務部	全課	各部署において、市民ニーズに的確に対応した情報発信に努めます。 市広報紙やホームページを活用し、予算の概要や公共工事の発注見通し等に関する情報発信に取り組みます。	総合体育館基本計画の市民説明会の結果公表 予算の概要の公表	体育館整備に関する各種報告 決算の概要の公表と次年度公共工事発注見通し
3		職員の育成	職員研修等の充実	総務部	職員課	職員の能力向上を目指し、各種研修に職員を派遣します。	各種研修の受講	各種研修の受講 民間企業派遣研修の実施
4			災害に対する職員対応能力の強化	総務部	防災推進課	地域防災計画や業務継続計画(BCP)の見直しとともに、情報伝達訓練や市総合防災訓練を実施します。	地域防災計画の改定 情報伝達訓練の実施	市総合防災訓練の実施
5				総務部	全課	情報伝達訓練等に積極的に参加します。	適切な伝達情報の徹底	適切な伝達情報の徹底
6			女性職員が活躍する職場環境づくりの推進	総務部	職員課	「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主計画」に基づき、係長以上における女性職員の割合の増加を図ります。	様々なスキルアップ等の研修への派遣	様々なスキルアップ等の研修への派遣
7			人事評価制度の適正な運用	総務部	職員課	納得度の高い人事評価制度とするため、制度の見直しを行うとともに、効率化・見える化を目指してシステムを導入します。	・課題整理と運用の見直し ・研修会の開催 ・庁内検討委員会の実施 ・システムの導入	・研修会の開催 ・調整会議の開催 ・システム研修・試験運用

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
8	市民に信頼される行政サービスの提供	情報公開と個人情報の保護	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	総務部	総務課	職員研修及び広報紙等において運用状況を公開します。	新規採用職員に対する研修の実施 情報公開件数等の公表	職員研修の実施
9				総務部	全課	制度に基づき、適切な運用に努めます。	情報公開請求等への適切な対応と電子メールの送信等に際しての宛先確認の徹底	情報公開請求等への適切な対応と電子メールの送信等に際しての宛先確認の徹底
11	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	総務部	財政課	行政経営推進会議を中心に、施策や事務事業の評価に基づく見直し・改善の取り組み内容を整理し、実効性のあるPDCAサイクルの確立を目指します。	行政経営推進会議での見直し・改善手法の検討	施策や事務事業の見直し・改善
12				総務部	全課	業務の見直し・改善に取り組みます。	業務の棚卸しと改善事項の抽出	業務の見直し・改善と業務マニュアルの更新
14	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	内部統制体制の整備	総務部	総務課	本市の実態に即した内部統制の取組を推進することで、職員の倫理の保持及び不適切な事務処理事案等の発生防止を図り、市民に信頼される行政サービスの提供に努めます。	・取組指針・内容の決定 ・不適切な事務処理事例等の整理、発生原因の分析	・リスク発生原因の解決に向けた対応マニュアル等の整備・運用 ・行政処分を法令、条例等から再整理し、処分ごとに担当部署、審査・処理基準をまとめた個票(マニュアル)を作成
16				総務部	職員課	職員のワークライフバランスを推進するため、時間外勤務の縮減や年次休暇の取得促進に取り組みます。 職員一人ひとりの公務能率の維持・向上を図るため、職員の健康管理に努めます。	令和3年度中に時間外上限を超えた部署を対象に、要因分析と改善案の作成を求める 健康診断、産業医による相談、ストレスチェック等の計画的な実施	時間外勤務の縮減について周知するとともに、各課で検討した時間外縮減の改善案を実施する 健康診断等の計画的な実施及び未受診者に対する勧奨
17	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	職員給与等の適正化	総務部	全課	ノー残業デーの推進や振休・年休の計画的な取得に取り組みます。	ノー残業の推進と振休・年休の計画的な取得	ノー残業の推進と振休・年休の計画的な取得
18				総務部	職員課	国・県から技術的助言を受けている課題について、給与制度の適正化に取り組みます。 定年延長制度の導入に向けた条例改正等に取り組みます。	給与制度等の適正化に向けた県との意見交換、課題の整理 定年延長制度導入に向けた調査研究、職員団体との協議	給与適正化に向けた職員団体との協議 定年延長制度関連条例・規則の制定

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
19	効果的・効率的な行政経営の推進	公共施設の最適化と適正な管理	公共施設マネジメントの推進	総務部	資産経営課	老朽化の著しい施設等の統廃合について検討を行うとともに、点検・診断を実施しながら、適切な維持管理と計画的な改修・更新に取り組みます。	細島地区コミュニティセンターの利活用や処分に関する検討 老朽化対策事業の実施内容検討	旧岩脇中学校の校舎解体 細島公民館など他の施設を含めた次年度以降の解体処分についての検討
20	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	第三セクターの経営健全化	総務部	財政課	第三セクター等経営検討委員会による経営状況等の点検・評価を行うとともに、経営健全化方針に基づき、公的支援の適正化と財政的リスクの低減に努めます。	令和3年度決算に係る経営状況の点検・評価	点検・評価報告書の公表
21			財務書類の分析と活用	総務部	財政課	統一的な基準に基づく財務書類の作成・公表とともに、有形固定資産減価償却率等の個別データの活用に取り組みます。	財務書類の作成	財務書類の公表と各指標の予算編成への活用
22			財政指標の改善	総務部	財政課	歳入確保や歳出構造の見直しを継続しながら、財政指標の改善に努めます。	前年度決算見込みに基づく財政指標の算定と分析	財政健全化に向けた次年度予算編成
23			市債残高の圧縮	総務部	財政課	計画的な市債の発行と交付税算入率が有利な市債の活用により、市債残高の圧縮に取り組みます。	前年度決算見込みと市債残高を考慮した計画的な市債の発行	有利な市債の発行と市債発行の抑制に留意した次年度予算編成
24			基金の計画的な活用	総務部	財政課	中長期的な視点により、財政調整積立基金と特定目的金の運用に努めます。	前年度決算見込みと基金残高を考慮した計画的な基金の運用	基金繰入に依存しない次年度予算編成
25			補助金等の見直し	総務部	財政課	「日向市補助金交付ガイドライン」に基づき、補助金の効果等を見極めながら、必要な見直しに取り組みます。	補助金の執行状況等の検証	次年度予算編成における見直し反映
26			補助金等の見直し	総務部	全課	「日向市補助金ガイドライン」に基づき、予算の執行管理の中で、適正な運用を図ります。	交付申請、実績報告等の確認・審査等による適正な運用	交付申請、実績報告等の確認・審査等による適正な運用
27	自主財源の確保	使用料、手数料の見直し	総務部	財政課	社会経済情勢等を見極めつつ、使用料や手数料の見直しに関する調査研究に取り組みます。	現状の把握と分析	財務書類等の活用による具体的な見直し手法の検討	

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R4取組内容	R4上半期	R4下半期
28	未来につなげる 財政運営	自主財源の 確保	市有財産の有効活用	総務部	資産経営課	普通財産として管理する土地・建物の 利活用や処分に取り組みます。	普通財産の利活用や処分2件	普通財産の利活用や処分2件
29			広告掲載事 業の拡充	総務部	財政課	既存の広告料等の拡充や新たな広告媒 体の活用を推進します。	既存の広告料等の拡充と新たな広告媒 体の導入の検討	既存の広告料等の拡充と新たな広告媒 体の導入の検討